

若 樹

杉並区立東田中学校

Respect と感謝

校長 坂本 聖二

3学期が始まって1カ月ほどが経ちました。現在本校の生徒たちは元気に学校生活を送っていますが、徐々にインフルエンザが広がりを見せており、今後学級閉鎖などが心配される状況になってきました。学校では引き続き手洗い、うがい、換気などを徹底し、少しでも感染の広がりを抑えられるよう努めてまいりますので、ご家庭でも感染防止にご協力よろしくお願いたします。

さて、本校の2年生が1月17日（水）～1月19日（金）の2泊3日で、菅平高原スキー場においてスキー実習の移動教室を実施しました。初日は快晴で気温も高く、汗ばむような陽気でしたが、2日目の午後は小雨が降り、3日目は霧がかかりホワイトアウトに近いような状態でした。そんな中でも全員の生徒が熱心にスキー実習に取り組み、3日目には見違えるほどスキーが上達するとともに、怪我や病気もなく全員無事に東京に帰ることができました。

今回の移動教室の大きなテーマは「感謝」でした。行き返りのバス乗務員の方々、宿舎のスタッフの皆様、スキースクールのインストラクターの皆様など、お世話になった方々への感謝の気持ちを言葉や行動で伝えることに重点を置いていました。生徒たちはこのテーマをしっかりと意識して行動しており、多くの場面で「ありがとうございます」の言葉を聞くことができました。また、我々教員側も生徒たちの心優しい行動に対して、多くの「ありがとう」を言うことができ、とても気持ちのいい3日間でした。3日目の閉校式では、お世話になった方々への感謝の気持ちを込めて全員で「ふるさと」を合唱し、インストラクターの方々の中には涙ぐんでおられる方もいました。私はその光景を見たとき、改めて東田中学校の生徒の心の温かさや優しさを感じることができ、大きな感動を覚えました。

本校の移動教室では毎年1日目の夜に、スキースクールの校長である岩谷高峰さんの講演会を行っています。岩谷さんはアルペンスキーの日本代表で1984年のサラエボオリンピックに出場された方です。岩谷さんはスキー競技人生の中で、たくさんの方々のお世話になりながら成長し、そのおかげでオリンピックに出場することができたそうです。岩谷さんはそれらのお世話になった方々に今でもとても感謝されているそうです。

岩谷さんは講演会の中で「Respect」という言葉を強調されていました。「Respect」とは日本語で敬意や尊敬の意味です。直接的、間接的に関わらずお世話になっている方々に敬意をもち、たとえそれがその方の仕事であっても敬意をもって接することが大切であるということをお話されていました。相手に対する敬意なくして感謝の心は生まれません。人間は多くの人たちの中で互いに支え合いながら生きています。互いに敬意をもち互いに感謝し合えるような関係であれば、いがみ合いやいじめなどがなくなり、必ず幸せな生活が送れると信じています。東田中学校ではこれからも「ありがとう」が溢れる学校であり続けるよう、指導して行きたいと思っています。

道徳授業地区公開講座

1月13日(土)、道徳地区公開講座を行いました。紙芝居サークル「原っぱ」の方々をお迎えして、紙芝居を利用した読み聞かせによる人権講演会として実施しました。平和などについて真剣に考える機会となりました。



移動教室(2年生)

1月17日(水)～19日(金)「移動教室」が実施されました。スキーの上達を実感できたこと、また何より仲間との貴重な思い出を刻むことができました。宿舎の食事など、宿の方のお心遣いにも癒されました。2年生は最上級生への進級に向けて一歩成長の機会になったことでしょう。



校外学習(1年生)

1月26日(金)に鎌倉校外学習が実施されました。教員の手を借りず、班員と協力して計画通りの班行動ができるかが、大きな目標の一つです。駅での乗り換えに苦戦したり、計画した時間とずれてしまい臨機応変な対応が必要になるなど、学校では学ぶことのできない、文字通り「校外学習」となりました。

